

# 淡路島の無人島？ 成ヶ島について

淡路島の洲本市、紀淡海峡を望む場所にある無人島「成ヶ島」を知っていますか？瀬戸内海国立公園にも指定されている成ヶ島は北側の成山と南側の高崎、その二つを結ぶ約3ｋｍの砂州によって形成されています。成山の展望台から見える景色は、日本三景の一つである京都の「天橋立」に似ていることから「淡路橋立」とも呼ばれ、地元の人々に親しまれています。



展望台からの美しい景色「淡路橋立」

## 【成ヶ島の地形の秘密】

現在の成ヶ島は周りを海に囲まれた島ですが、以前は淡路島の本島とつながっている陸地でした。江戸時代の古地図から過去の地形を再現したイラスト（由良浦住古之図）を見ると、現在の成ヶ島の北側と南側がそれぞれ本島側とつながっており、内湾にあたる由良湾は潟湖（砂州等によって外海から隔たれた湖・ラグーンとも言われる）だったのです。当時はその砂州の切れ目である「古川口」から物資を運ぶ船が出入りしていたのですが、砂がたまりやすい地形のため湖の底が浅く、また外海に面しているため波が高いこと等から、江戸時代後期に台頭した大型の船は出入りができず、大変不便でした。そこで大形の船が入港できるように、人の手で成ヶ島の北側と南側にあたる地面を掘削して深い水路を作る開削工事が行われ、北側の「新川口」が明和3（1766）年に、南側の「今川口」は文政6（1823）年に完成し、船の出入りが行われなくなった「古川口」がやがて陸地でつながり今の成ヶ島になりました。

島になって外からの影響を受けにくくなったことで、成ヶ島には自然海岸や塩性湿地等の貴重な自然景観が残る島になりました。成ヶ島の自然植生は「兵庫県版レッドデータブック（2020）」のＡランクにも指定されており、貴重な海浜性の動植物が生息しています。







由良浦住古之図（パンフレット瀬戸内海国立公園　成ヶ島　環境省発行より）

# なるがしま　せいそく　どうしょくぶつ　しょうかい
# 成ヶ島に生息する動植物を紹介


アカテガニ

岩場や森林等の陸地で生息するカニ。
夏の大潮のタイミングでメスが海辺に子（幼生）を放つため、海岸に集まります。


ハクセンシオマネキ

海岸や干潟に生息するカニ。
夏にオスが求愛行動で大きな白いハサミを振る姿が名前の由来になっています。


ニホンジカ

警戒心が強く、日中ほとんど出てきません。
オスの頭に生える立派なツノは、毎年抜けて、新たに生え変わります。


シロチドリ

成ヶ島のある洲本市の「市の鳥」にも指定されているシロチドリですが、年々淡路島でも観察できる数が減っています。


キョウジョシギ

まだら模様の羽根と橙色の足が特徴の鳥。
春と秋の渡りのタイミングで、一時的に成ヶ島に飛来することがあります。


ハマナデシコ

ナデシコ科の多年草で、海岸の崖や砂地に生息します。初夏から晩秋にかけての長期間にわたり花を咲かせます。


ハマボウ

アオイ科の落葉低木。ハイビスカスに似た黄色い花を咲かせ、成ヶ島で夏に行われる「ハマボウ祭り」の名前にもなっています。


ハママツナ

ヒユ科の一年草で、塩性湿地に生える代表的な植物。普段は緑色ですが、秋は写真のように赤く染まります。


ウラシマソウ

サトイモ科の多年草で、名前は花から伸びた付属体を、浦島太郎の釣り竿に見立てたことに由来します。

**アクティブ・レンジャーを出前授業に呼んでみませんか？**

この記事を書いた兵庫県南部・瀬戸内海側にある神戸自然保護官事務所の中村（なかむら）です。
自然の中で学べる出前授業も行っています。

↓↓興味のある方は、お気軽に下記までご相談ください↓↓

環境省　神戸自然保護官事務所　TEL：078-331-1146　FAX：078-331-1148
竹野自然保護官事務所　TEL：0796-47-0236　FAX：0796-47-0249



発行/（一財）兵庫県学校厚生会 情報管理部 会員広報課 （078）331-9962